



独立行政法人 **科学技術振興機構** (JST)  
戦略的創造研究推進事業 (ERATO)

**高原ソフト界面プロジェクト**  
Takahara Soft Interfaces Project

# 最終成果報告会

【日時】 2014/1/31 <sup>金</sup> 13:00-17:45

【会場】 九州大学西新プラザ 福岡市早良区西新 2-16-23

【定員】 150 名 (参加費無料) 申込締め切り 1/10 (金)

高分子や液晶、ゲル、コロイド、生体膜などの“柔らかい材料”を総称して「ソフトマテリアル」と言います。また、これらが形成する表面や界面は動的な特徴を有し、これをソフト界面と呼びます。ERATO 高原ソフト界面プロジェクトでは、優れた特性を有する自然界の材料設計に学び、新規なソフト界面を作り出すとともに、その精密な構造制御および物性に関する研究を平成 20 年 10 月発足より行ってきました。平成 26 年 3 月末の研究期間終了に当たり、これまでの研究成果を広く一般の方に報告することを目的として研究成果報告会を開催いたします。

主催：(独) 科学技術振興機構 ERATO 高原ソフト界面プロジェクト  
共催：九州大学先導物質化学研究所・九州大学高分子機能創造リサーチコア  
協賛：高分子学会・接着学会・繊維学会・日本中性子科学会・日本放射光学会  
日本レオロジー学会 (50 音順)

参加申し込み・お問い合わせ  
高原ソフト界面プロジェクト

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 (CE80)

tel: 092-802-2541, fax: 092-802-2544,

e-mail: [erato@muse.ifoc.kyushu-u.ac.jp](mailto:erato@muse.ifoc.kyushu-u.ac.jp)

(お申込の際には、懇親会参加の有無をお知らせください。懇親会参加費は当日受付にてお支払いください。)



# IMCE





**研究総括紹介** 研究総括である高原淳氏は、高分子の構造と物性の研究を一貫して遂行し「非線形動的粘弾性測定に基づく高分子材料の疲労機構の解析と耐疲労性繊維材料の構築」、「有機/無機ナノハイブリッドの構造と物性」、「生体材料用ポリウレタンの構造と生体内安定性の研究」、「ソフト界面の精密構造と界面物性制御」、「量子ビームを利用したソフト界面の精密構造解析」などの研究で基礎から工学的な応用まで幅広く優れた業績を上げてきました。

## プログラム

13:00-13:15 開会挨拶

13:15-13:45

総括より全体の成果説明

高原 淳

13:45-14:10

界面分子設計グループ成果報告

小林 元康

14:10-15:00

【特別講演】土井 正男 先生 (北京航空航天大学教授・東大名誉教授)  
「ソフトマターの乾燥」

15:00-16:00

ポスター発表 & ブレイク

16:00-16:25

階層構造制御グループ成果報告

渡邊 宏臣

16:25-17:15

【特別講演】龔 劍萍先生 (北海道大学教授)  
「可逆的犠牲結合による高靱性・自己修復性ゲルの創製」

17:15-17:40

先端界面構造物性解析グループ成果報告 陣内 浩司

17:40-17:45 閉会挨拶

18:00-19:00 懇親会

### アクセス

福岡空港から地下鉄「姪浜」行き乗車 約20分

博多駅から地下鉄「姪浜」行き乗車 約15分

→いずれも、「西新」駅下車、⑦番出口より徒歩約10分

プラザ本館へは正面玄関(樋井川沿い)より、ご入館ください

<http://www.kyushu-u.ac.jp/university/institution-use/nishijin/infomap.htm>

